

学部別 先輩インタビュー

# インターンシップで 建設現場の業務を研究。 「施工管理」の仕事 を志望し、内定を獲得!



川野 将輝さん

KAWANO Masaki

理工学部 理工学科 建築学系 建築生産ゼミ

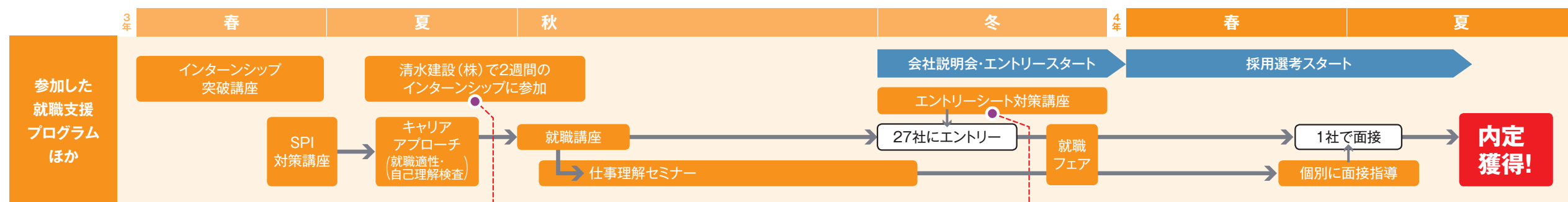
清水建設株式会社  
内定

志望業界  
建設

- エントリー社数: 27社
- エントリーシート提出: 3社
- 説明会参加社数: 10社
- 面接社数: 1社

建築学系の専門知識の習得、教職課程の履修、鶴川サッカー部の活動を3本柱として、とても多忙な4年間を過ごす。さらに、営業職のアルバイトやゼネコンでのインターンシップなどを経験し、社会人と接する機会を多く持った。

## 川野先輩の就活スケジュール



😊 ココがよかった!

インターンシップで建設業界の「三現主義」を学べたこと。これは、「現場」「現実」「現物」の3つ。現場重視の仕事内容が自分に合っていることがわかり、志望動機が明確になりました。また、建設現場が予想以上にきれいで、楽しそうな雰囲気だったのも印象的でした。

☹️ ココが反省!

3年次前期にSPI対策講座を受けたものの、その後勉強しなかったため筆記試験で苦勞しました。SPIや筆記試験の対策は定期的に継続すべきでした。3年次の春から秋にかけての講座は、時間があれば、すべて受けておくのが得るものが多いと思いますよ。

😊 ココがよかった!

エントリーシート対策講座で指導を受けたことで、清水建設(株)でのインターンシップ経験で得た知識を志望動機にスムーズにつなげることができました。「施工管理」という将来目指したい職種を自分の強みと絡めて示せたのは、大きなアピールになったと思います。

インターンシップで現場を見たことがブレない志望理由に!



Q

3年次まではどのように過ごしてきた?

A 1・2年次は、建築学系の学びに加え、鶴川サッカー部の活動、ウォーターサーバーの営業のアルバイト、さらに教職課程も履修していたので、本当に忙しい日々でした。本格的に就職活動を始めたのは、3年次の春から。どうせなら大企業の仕事現場を知りたいと考え、大手ゼネコンのインターンシップに応募しました。



清水建設(株)でのインターンシップ研修日誌。日々の研修内容に加え、当日の「目標」とそれに対する「振り返り」もびっしり記入しました。

Q

インターンシップってどんなことをするの?

A 私は内定先である清水建設(株)で2週間のインターンシップを経験しました。1週間は本社での座学研修、残りの1週間は建設現場での研修でした。印象に残ったのは現場研修。「施工管理」という職種の存在を知り興味を持ちました。担当社員の方が熱心に仕事に関する質問に答えてくださり、将来のイメージが膨らみました。

Q

インターンシップに向けた準備は必要?

A インターンシップに参加するならば、社会人としてのマナーや業界の知識をあらかじめ学んでおくことが何倍にもなると思います。私は、大学の「インターンシップ突破講座」に参加して基本的なマナーを学んだほか、インターンシップに応募する志望理由についても徹底的に考えました。とにかく早めの準備がおすすめです。

Q

他にも在学中に印象に残った活動はある?

A ウォーターサーバーの営業のアルバイトで、売り上げランキング上位の成績を残せたことですね。学生なので週2回の出勤ながら、全社員200名のうち20位に入れたのは大きな自信になりました。初対面の社会人と話す経験によって、コミュニケーション能力が鍛えられた気がします。これは就職活動の面接時にも役立ちました。